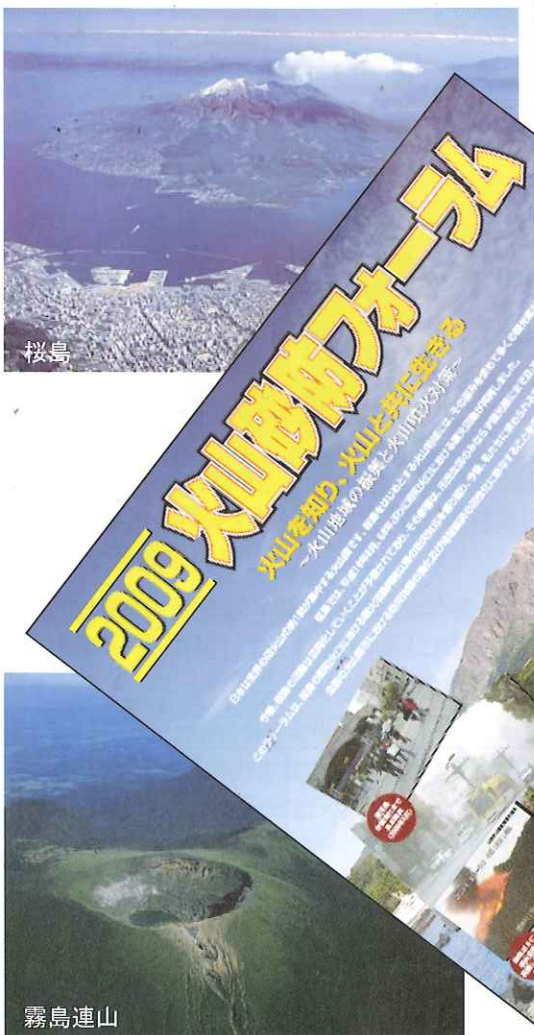




2009 火山砂防フォーラムの開催

平成21年10月29日に鹿児島市民文化ホールで「2009火山砂防フォーラム」が開催されます。「2009火山砂防フォーラム」では、近年噴火活動が再開している桜島火山における噴火対策についての研究発表やパネルディスカッションが行われます。また現地研修会として、桜島島内における火山砂防施設等を視察します。火山防災への理解を深める貴重な機会ですので、奮ってご参加ください。

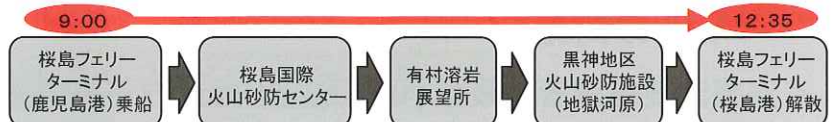


プログラム

第1日目 フォーラム(鹿児島市民文化ホール 第2ホール)

時間	内容・出演者等
13:00	開会式典 主催者挨拶 火山砂防フォーラム委員会委員長 鹿児島市長 森 博幸 来賓挨拶 鹿児島県知事 伊藤 祐一郎 国土交通省砂防部長 牧野 裕至
13:20	研究発表:「活火山・桜島とわたしたちを支える火山防災」 桜島火山と噴火対策について、桜島島内の中学生が学習した成果を発表します。 出 演) 鹿児島市立東桜島中学校1~3年生 コメンテーター) NPO法人桜島ミュージアム理事長 福島 大輔 京都大学防災研究所 火山活動研究センター准教授 井口 正人 進 行) KTS鹿児島テレビアナウンサー 中西 真貴
14:30	休憩
14:45	パネルディスカッション:「火山地域の振興と火山噴火対策」 近年、噴火活動を再開した桜島における防災関係機関の対応を振り返り、評価と課題その解決に向けた意見交換を行うとともに、大正規模の噴火への備えまでを視野に入れて防災関係機関としてのあり方や課題にも言及していきます。また火山防災を地域の振興に活かしてゆくための様々な方策についても意見交換を行います。 出 演) 鹿児島市長 森 博幸 垂水市長 水迫 順一 京都大学防災研究所 火山活動研究センター教授 石原 和弘 鹿児島県観光プロデューサー 奈良迫 英光 南日本新聞社論説委員 日高 和広 コメンテーター) 国土交通省砂防部長 牧野 裕至 コーディネーター) NHK解説副委員長 山崎 登
16:45	火山砂防フォーラム鹿児島大会宣言
17:00	～第1日目フォーラム終了
17:30	情報交換会 開会(19:30閉会予定/会場:鹿児島サンロイヤルホテル)

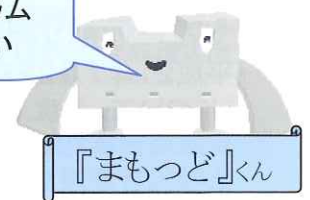
第2日目 現地研修会(桜島島内の火山砂防施設等)



○火山砂防フォーラムについて

平成3年の長崎県雲仙・普賢岳噴火災害を契機として、噴火対策や防災体制の確立、防災意識の高揚を図るために、全国の活火山周辺の31自治体が「火山砂防フォーラム実行委員会」(149市町村加盟:平成21年4月時点)を組織しました。火山砂防フォーラムは平成3年から毎年全国の活火山周辺で、「火山を知り、火山とともに生きる」をテーマとし、パネルディスカッションや研究発表、情報交換会、現地研修会などを通して、火山活動に伴う警戒避難体制や防災体制の強化など開催地域周辺における防災意識の変革などに寄与していると学識界等からも高く評価されています。

2009火山砂防フォーラム
へ奮ってご参加ください

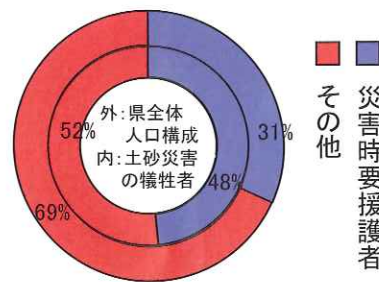


災害時要援護者関連施設を保全する土砂災害対策について

災害時要援護者に係わる土砂災害の現状

平成5年～18年に発生した土砂災害の人的被害に占める災害時要援護者※1は約5割であり、県の人口に占める災害時要援護者の約3割(H20.10.1)に対して高い割合となっています。また、先日、山口県防府市で発生した土石流災害では災害時要援護者関連施設※2である特別養護老人ホームが被災し、死者・行方不明者が14名に上りましたが、そのうち13名が65才以上の災害時要援護者でした。

※1: 年齢が5才以下、65才以上の者のみを考慮
 ※2: 児童福祉施設、老人福祉施設、身体障害者更生援護施設、知的障害者援護施設、精神障害者社会復帰施設、医療提供施設、幼稚園など



土砂災害の人的被害に占める災害時要援護者の割合(H5～H18)

対策の取組状況

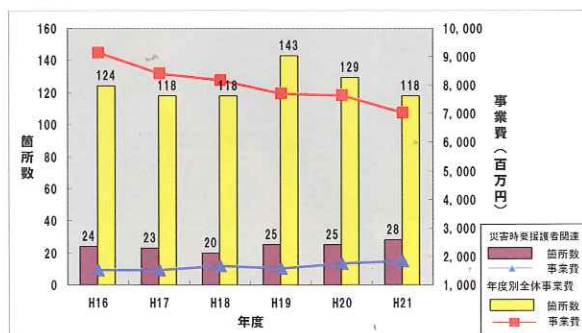
<ハード対策>

鹿児島県においては、災害時要援護者関連施設に被害を及ぼす恐れのある土砂災害危険箇所のうち、土砂災害防止施設の整備率は約4割となっており、全国平均よりも約1割高くなっています。事業費に関しては、砂防事業費全体が年々減少する中で、災害時要援護者関連施設を保全するハード対策を重点事業に位置付け、積極的な整備を行っていることから、全体事業費における災害時要援護者対策に係わる事業費の比重が大きくなっています。

災害時要援護者関連施設に関する危険箇所整備状況

土砂災害危険箇所 (H12年度調査)	要施工箇所数 ※1	H20年度末	
		施設設置箇所数	整備率(全国)※2
土石流	2,160	652	30% (21%)
急傾斜	2,707	954	35% (25%)
地すべり	85	21	25% (22%)
合計	4,952	1,627	33% —
うち災害時要援護者関連施設	270	112	41% (31%)

※1: 土砂災害危険箇所のうち、他事業対応箇所等を除く、砂防課補助事業等での対応予定箇所
 ※2: ()はH18年度末現在における全国平均の整備率



災害時要援護者対策における事業費等の推移

<ソフト対策>

平成13年度に施行された土砂災害防止法に基づき、平成16年度から近年の災害実態を踏まえ、市町村と連携し土砂災害警戒区域等の指定に努めています。

災害時要援護者関連施設に関する土砂災害警戒区域等の指定状況 H21. 9. 30現在

	土砂災害危険箇所		土砂災害警戒区域		うち土砂災害特別警戒区域	
	箇所数	うち施設を保全対象に含む箇所数	区域数	うち施設を含む区域数	区域数	うち施設を含む区域数
鹿児島県	16,204 (45市町村)	354 —	8,707 (17市町村)	148 (14市町村)	1,021 (3市町村)	9 (3市町村)

※参考 地域防災計画書への記載市町村数 14市町村 ハザードマップ作成済みの市町村数 10箇所 (H21年4月1日現在)

今後の対応

<災害時要援護者対策のハード・ソフト対策の一層の推進>

- ハード対策: 災害時要援護者対策着手率(平成22年度末)の中期目標である56%を達成
- ソフト対策: 災害時要援護者関連施設を含む土砂災害警戒区域等の指定の調査を平成23年度末までに完了

<その他の取り組み>

- 平成21年7月28日に、市町村に対して危機管理部門と連名で、土砂災害防止法に基づく警戒避難体制の整備について、再度通知(実施済)
- 台風期前までに、災害時要援護者関連施設を保全する砂防施設等の再点検を実施(実施済)
- 土砂災害危険箇所内等にある災害時要援護者関連施設の再調査を実施し、年内に公表予定

垂水市長と治水砂防協会静岡県支部との意見交換会

8月20日に全国治水砂防協会静岡県支部の20名が鹿児島県の砂防事業の視察に訪れました。

一行は、垂水市の二川地区の被災現場を視察した後、垂水市長との意見交換会に臨みました。

意見交換会では、冒頭垂水市における危機管理の取組状況の説明があった後、住民の警戒避難のあり方について、避難勧告と土石流発生時にタイムラグがあることや避難場所がバリアフリーでないことなど、日頃各首長が苦慮されている事項について活発な意見交換がされました。



意見交換会の様子

インターンシップ研修生の紹介



鹿児島県立短期大学
商経学科経済専攻1年
川畑 英里 さん

8月17日～21日の1週間
インターンシップ研修生として
砂防課にて研修

先日は大変お世話になりました。夢にまで見ていた県庁に行くことができ本当にうれしかったです。私が県庁に将来勤めたいと思ったキッカケは、大学で知り合った友人でした。その友人の父が県庁にお勤めしていて、友人は何回も転校を経験していました。そして、知識が豊富にあり、笑顔が絶えない子です。その友人は、大学でも自らボランティアサークルを立ち上げ、大学生ながらも積極的に社会活動に取り組んでいます。そんな友人を見て、自分も何か社会のためになる仕事がしたいと思うようになりました。そして次第に、鹿児島県の各地方をめぐる、新たな仕事や人と出会える県庁に勤めてみたいと思うようになりました。そして、今回は企業研修という機会を利用して県庁に実際に身をもって体験をしに行くことができました。体験に行くまでは砂防という言葉を知らず、全くどんなお仕事をしているのかわかりませんでした。しかし職員の方々がわかり易く丁寧に教えて下さったおかげで、砂防課のお仕事がだいたいどういうものなのかわかるようになりました。また、4日目は実際の現場や市長さんの意見交換会にも立ち合わせていただくこともできました。市長さんの意見交換会では自分の災害に対する考えの甘さを改めて実感しました。

今回私は、授業の一環として行かせていただいたのですが、楽しみながら学ぶことができました。私がこのように楽しく学べたのは、皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

〔 県議会だより(平成21年第3回定例会, 砂防課関係) 〕

- ・補正予算が採択されました。(砂防施設等管理事業 5,800千円 砂防台帳整備費 5,500千円)
- ・平成21年9月4日に、大島郡町村議会議長会会長 町田末吉氏より陳情のあった「急傾斜地崩壊対策事業の整備促進について」は、平成21年第3回県議会定例会において採択となりました。

編集後記

今年は梅雨も少雨だったし、この秋も台風が来ることなく終わってしまいそうな雰囲気です。8月末の日曜日、久しぶりに我が家の生垣の剪定をしていた時のこと。あと少しで作業も終わりかけた矢先にスズメバチの小群に襲われてしまいました。ほとぼりが冷めた頃、そ〜と覗いてみると、結構大きくなったスズメバチの巣がそこにあるではありませんか。昔から「スズメバチが高いところに巣を作る年は台風が来ない」という話もうなづけるといふものです。

とは言っても、山口県防府市などの土砂災害の例に見るように、「天災は忘れずにやってくる！」ものです。今回は土砂災害警戒区域指定後の災害時要援護者関連施設への情報伝達の取組状況が課題となりましたが、日頃からの防災への備えはどんな時も欠かさずことなく頑張らしましょう。

(編集長 技術補佐 U・K)

ご意見・ご感想お寄せ下さい

TEL:099-286-3616 FAX:099-286-5627

E-MAIL: sabou@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島県ホームページ: <http://www.pref.kagoshima.jp/>

土砂災害警報システムホームページ: <http://www.doboku-bousai.pref.kagoshima.jp/>

“みんなで防ごう土砂災害”